

東地協「政治学習会」

政権の恣意的運営を暴露！

武内議員、安倍政治を厳しく指弾



東地協は、第196通常国会が事実上閉会(7/20)した翌日の7月21日、高知会館で政治学習会を開催した。この学習会には45名の組合員が参加。立憲民主党 武内則男衆議院議員を講師に、安倍政権の恣意的な国会運営の数々について報告を受けた。

武内議員は、森友・加計学園問題

地域政策に関する議員懇談会

政策要求で地域貢献を！

「2019年度地域政策」の作成に取り組んでいる東地協は7月19日、エリア内の連合高知推薦議員と政策要求に関わる意見交換を行なった。

この懇談会には別記の議員諸氏に参加いただき、「雇用・労働、地域振興政策、社会保障、人権擁護、教育」など多岐にわたる課題をめぐって、その内容の深化を図った。

開催にあたって白木議長は「政策課題は生活に直結するものだ。政策要求を連合の地域に根ざした顔の見える運動のひとつとして地域貢献につなげていきたい。また、こうした活動を通して連合の必要性や意義を多くの人に認識してもらいながら、

にはじまり、「高度プロフェッショナル制度」の問題や公選法の改悪、水道法改悪の背景、森林事業に関わる法改悪の動きなどを述べながら、その裏にある安倍首相の私利私欲政治と、安倍政権による民主主義と立憲主義を蔑にした国会運営の数々を暴露。高プロ制度については「産業競争力会議などで結論(出口)が決められており、それが厚生労働省に回ってきた。だから、その結論に合わせてデータのねつ造が起こった」と述べた。また、カジノ法案の拙速な採決では「トランプ大統領との約束があるから法の成立を急いだのではな

いか」と推測した。さらに、水道法の改悪に関しては「水道事業の民営化を推進するための法改悪だ。民営化によって外資企業と麻生大臣の関係者に利益をもたらすことになる」などと、この国会で強行採決した法案のほとんどが「安倍政権の、安倍政権による、安倍政権のための政治だ」と安倍政権を厳しく指弾した。

最後に、安倍政権のこうした暴走を止めるために、職場から行動を起こしながら来年の政治決戦を闘い抜く決意を参加者全員で確認し合っ

て全日程を終了した。

8月18日、「平和学習会」開催！

今年の平和学習会では、「ベトナム戦争」に関わる戦後の痛ましい状況を記録したドキュメンタリー映画を上映することにしました。この作品では、ベトナム戦争後の今でも米軍の枯葉剤散布によってベトナムの人々の暮らしと大地を蝕み続けている現状がリアルに記録されています。この事実は、先の湾岸戦争やイラク戦争、さらには現在のシリア内戦におけるウラン弾、化学兵器の使用とも相通ずるものではないのでしょうか。

そうした意味も含めて今回のDVD上映には「各組織の次代を担う若者」を中心に、是非とも多くの組合員の皆様のご参加をよろしく願っています。

1. 内容 DVD上映「花はどこへいった
～ベトナム戦争のことを知っていますか～」
2. 開催日時・場所
日 時 8月18日(土)
13:00受付 13:30～開演(15:00終了)
開 場 所 グレース浜すし

を豊富化してはどうか」など真摯な意見が出された。

その後に行われた懇親会では、ひざを突き合わせたざっくばらんな意見交換や情報交換して全日程を終了した。

《参加いただいた議員の皆さん》

斎藤朋子・小泉潤 香南市議

中山研心・今西忠良 南国市議

和田勇 土佐町議、河田角栄 田野町議